

令和5年度島根県電源立地地域対策交付金実績一覧（間接交付事業）

	自治体	事業名	事業費（円）	交付金（円）
1	出雲市	乙立町地内用水路余水吐施設改修工事	4,763,000	4,447,000
2	益田市	市道横田住宅団地1号線道路改良事業	6,792,500	5,371,000
3	安来市	布部飯田水路改修工事	3,600,791	3,600,791
4	江津市	中学校運営事業	7,726,774	4,545,000
5	雲南市	自治会施設等整備補助金（門自治会集会所改修工事）事業	2,000,000	2,000,000
6		自治会施設等整備補助金（飯石交流センター備品整備）事業	2,684,000	2,684,000
7		自治会施設等整備補助金（吉田交流センター防災備品整備）事業	880,000	880,000
8		自治会施設等整備補助金（民谷交流センター防災備品整備）事業	473,110	468,610
9		バス停留所標識柱設置事業	286,000	286,000
10		自治会施設等整備補助金（田井交流センター防災備品整備）事業	601,183	601,183
11		自治会施設等整備補助金（松笠交流センター防災備品整備）事業	1,295,800	1,295,800
12	奥出雲町	大仁農道舗装改修工事	4,510,000	4,466,000
13	飯南町	町道頓原長谷線舗装修繕工事	5,027,000	4,456,000
14	美郷町	ゴールデンユートピアおおち維持運営事業	13,333,333	10,408,000
15	津和野町	道路維持車調達事業	5,310,112	4,513,000
16	吉賀町	授業用電子黒板等整備事業	1,853,500	1,510,000
17		学校教育用施設備品整備事業(遊具)	2,200,000	1,653,000
18		学校教育用施設備品整備事業(プールサイドマット)	1,562,000	1,237,000
計			64,899,103	54,422,384

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設 に係る整備、維持補 修又は維持 運営等措置	乙立町地内用水路余水吐施設改 修工事	出雲市	4,447,000	4,447,000	総事業費 4,763,000

Ⅱ. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	乙立町地内用水路余水吐施設改修工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		出雲市		
交付金事業実施場所		出雲市乙立町		
交付金事業の概要		乙立町地内にある殿川内用水路・向名用水路の放流施設（余水吐）は、築後40年が経過しており、経年劣化が顕著なうえ、堰板の設置撤去による放流操作を行っています。 管理者（古田用水組合、田中沖用水組合）の高齢化に伴い、管理が非常に困難な状況であること、現在の板樋では大雨時に危険なことから、地元からの要望がある施設改修を行うことにより、施設の機能性や安全性を確保します。 令和5年度は、殿川内用水路・向名用水路に余水吐設置工N=2基を実施します。		
		箇所	工事内容	箇所数
		殿川内用水路	用水路余水吐改修	N=1基
		向名用水路	用水路余水吐改修	N=1基

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	出雲市国土強靱化地域計画 Ⅴ 施策分野ごとの推進方針 7 経済産業 （3）農林水産基盤の強化 （農業基盤施設の安全化） ・ 農業用排水施設等の機能診断調査を適切に行い、計画的・効率的な整備や老朽化、機能保全対策を推進していく。 （農林基盤課）				
事業開始年度	令和5年度		事業終了（予定）年度		令和5年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和5年度
	対策が必要な範囲における対策済箇所の割合（%） 100%	対策済み箇所（基）／対策が必要な全箇所（基）×100（%）	成果実績	%	100.0
			目標値	%	100.0
			達成度	%	100.0
	評価年度の設定理由				
	当該事業が完了するのが、令和5年度であるため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和5年度		
	乙立町地内用水路 余水吐施設改修工事 進捗量		活動実績	基	2.0		
			活動見込	基	2.0		
			達成度	%	100.0		
交付金事業の総事業費等	令和5年度						
総事業費	4,763,000						
交付金充当額	4,447,000						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	4,447,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
余水吐施設改修工事		随意契約(特命)		浜村木材有限会社(出雲市)		4,763,000	
		計				4,763,000	
交付金事業の担当課室		出雲市農林水産部農林基盤課					
交付金事業の評価課室		出雲市農林水産部農林基盤課					

別紙

I．事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道横田住宅団地1号線道路改良事業	益田市	5,371,000	5,371,000	総事業費 6,792,500

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和５年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修	市道横田住宅団地 1 号線道路改良事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		益田市
交付金事業実施場所		益田市横田町
交付金事業の概要		本事業は市道横田住宅団地1号線のうち、起点側の120mの区間の道路改良を行う事業です。本年度は一部区間の道路改良工事を行います。 益田市の管理する市道横田住宅団地1号線は、総延長320m、道路幅員2.8～4.3mの歩道の無い車道のための幅員狭小道路です。「横田住宅団地」と呼ばれる40棟近くの家屋が密集する団地内の基幹道路です。このうち特に、市道の起点側120mの区間は団地内への出入りのための唯一のルートとなっています。一方で、起点側120mの区間は幅員が4mに満たず最小幅員3.6mと狭小で、車両同士の円滑な離合が困難な状況となっており、接触事故等、かねてから安全性に懸念があります。 一般的には道路を拡幅改良することで離合の困難は解消されますが、起点部に防火用貯水池があるうえ、拡幅工事を行った場合、工事期間中の迂回ルートが無く、団地内への車両の進入が困難となる等の課題がありました。 このほど、当該市道沿線の市営住宅が老朽化のため他地区へ移転となり、また、市営住宅と市道用地との間の民有地の買収も令和元年度に行ったことから、当該区間の改良については、現道を維持しながら並行するバイパス的な道路改良整備が可能となりました。このため、本交付金を活用することにより、当該区間について、幅員5.0mのバイパス的な道路を改良整備し、団地内を出入りする車両同士の安全な離合を可能とし、日常生活の利便性向上を図ろうとするものであります。 平成30年度より本交付金事業を財源の一部として活用して、道路整備のための調査設計として、当該整備予定区間120mの測量を行い、ルート決定、並びに道路設計のための平面図作成、路線測量（中心線測量、縦断測量、横断測量等）を行い、（ルート決定、路線測量、道路設計については市単独事業で実施）用地測量を行い用地取得を行いました。 令和２年度より道路改良工事に着手しており、今年度も引き続いて事業を行うものです。 （令和５年度の実施内容） 施工延長 L=102m・道路土工 掘削工 V=30m³ 法面整形工 A=40m² ・排水構造物工 側溝工 L=3m 集水枳工 N=1箇所 ・舗装工 舗装工 A=468m²

交付金事業に関係する都道府県 又は市町村の主要政策・施策と その目標	第6次益田市総合振興計画後期基本計画（令和3年度（2021年）3月） 基本目標Ⅳ：ひと・もの・情報をつなぐネットワークが整備されたまち 基本施策1：市内外のアクセスを確保する道路網整備 ⑤：市道（街路）・農道・林道の整備 地域の生活道路は、既存の道路の維持・管理に努めるとともに、必要に応じ新設・改良を進め、 日常生活の利便性の向上を図ります。 目標指標：市道改良延長 現状値（令和元年度）：511km 目標値（令和7年度）：514km							
事業開始年度	平成30年度		事業終了（予定）年度		令和6年度			
事業期間の設定理由	平成30年度に測量、設計、令和元年度に、用地測量、用地取得、令和2年度に工事着手を行い、令和6年度の供用開始を見込む							
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			
	市道のうち幅員が狭く 離合が困難な箇所の解 消。	整備が完了した区間 ÷整備予定区間	成果実績	%	令和6年度			
			目標値	%	100			
			達成度	%				
	評価年度の設定理由							
	市道横田住宅団地1号線道路改良工事が完了し供用が開始されるのが令和6年度であるため。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	側溝の整備延長		活動実績	m	28	53	3	
			活動見込	m	28	53	3	
			達成度	%	100.0	100.0	100.0	
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考				
総事業費	5,582,500	5,788,200	6,792,500	総事業費23,000,000円(予定)				
交付金充当額	5,442,000	5,471,000	5,371,000					
	うち文部科学省分							
	うち経済産業省分	5,442,000	5,471,000	5,371,000				
交付金事業の契約の概要								
	契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
	工事実施		指名競争入札		(株)倉栄（益田市）		6,792,500	
	計						6,792,500	
交付金事業の担当課室	益田市建設部土木課							
交付金事業の評価課室	益田市建設部土木課							

別紙

I．事業評価総括表（令和5年度）
（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	布部飯田水路改修工事	安来市	3,600,791	3,600,791	総事業費 3,600,791

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	布部飯田水路改修工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		安来市
交付金事業実施場所	安来市広瀬町布部	
交付金事業の概要	市の中央部に位置する広瀬町布部地区は、中山間地で水稻を中心とする農耕地です。飯田水路は布部地内飯梨川右岸を南北に縦断し、受益面積7.4ha、11戸の水田を賄う基幹水路として機能しています。 しかし、水路の老朽化により常態的に漏水している箇所があり、また、幅員の差が生じている個所においては、増水時に越水が発生している状況にあります。4月頃から水田に多くの水が必要なときにU字溝が細いため十分な水の確保ができず、また、断面が不足する箇所においては、増水時に越水し、付近の田畑が水浸しになる状況にあります。 このため、令和4年度に実施した測量設計を基に令和5年度に改修工事を行い、越水被害を防ぎ、安定した水の供給を図ります。 工事延長 L=77.14m	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	【交付金事業に係る主要政策・施策】 第2次安来市総合計画（平成28年～令和7年） 基本理念 活力・快適・らしさ・つながり・安心 基本政策 みんなで支えあうまちづくり／第4章 産業・観光・雇用／第1節 農林水産業の振興／ 方向 営農の組織化・農地の利用集積と担い手の育成・確保を推進する	

事業開始年度	令和 4 年度		事業終了（予定）年度		令和 5 年度
事業期間の設定理由	令和 4 年度に測量設計を行い、令和 5 年度に工事を行うため。				
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和 5 年度
	飯田水路における改修工事により安全に管理できるようになった水路延長の割合（100%）	改修工事が完了した区間／改修予定区間	成果実績	%	100
			目標値	%	100
			達成度	%	100.0
	評価年度の設定理由				
	事業完了後、速やかに評価を実施するため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	—				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和4年度	年度	年度
	飯田水路の測量設計延長及び改修工事の延長		活動実績	m	112.59	77.14	
			活動見込	m	110	77.14	
			達成度	%	102.35	100.00	
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度			年度	備 考	
総事業費	4,345,000	3,600,791					
交付金充当額	4,345,000	3,600,791					
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	4,345,000	3,600,791					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
水路改修工事		指名競争入札		(株) コンドウ【安来市】		3,026,100	
電柱移転補償		随意契約		中国電力ネットワーク（株）山陰ネットワークセンター【松江市】		574,691	
		計					
交付金事業の担当課室		安来市政策推進部広瀬地域センター					
交付金事業の評価課室		安来市政策推進部広瀬地域センター					

別紙

I．事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	中学校運営事業	江津市	4,545,000	4,545,000	総事業費 7,726,774

Ⅱ．事業評価個表（令和５年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	中学校運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		江津市	
交付金事業実施場所	・江津中学校（江津市江津町） ・江東中学校（江津市後地町） ・青陵中学校（江津市二宮町神主） ・桜江中学校（江津市桜江町川戸）		
交付金事業の概要	江津市教育大綱において、江津市は目指す姿として「夢と志をもち、未来を切り拓こうとする人」と定めており、その教育方針で「教育活動の質の向上」と定めています。 GIGAスクール構想に必要な機器整備や、教員の負担を軽減するための人の配置など、学校環境を維持運営するための経費は増加傾向となっています。また、江津市では、近年の夏の猛暑のため各学校の教室にエアコンの整備を行いました。快適な学習環境を維持するための費用が増加しています。本交付金を中学校の電気代へ充当することによって、継続的に快適な学習環境を構築し、公共用の施設の維持運営を図ります。 市内中学校4校の電気代 6 か月分		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第6次江津市総合振興計画（令和2年度（2020年度）～令和11年度（2029年度）） 基本方針5 豊かな心を育む芸術・文化・教育・スポーツのまちづくり 施策2 豊かな創造性を育む人づくり （2）学校教育の充実 具体的な取り組み ③ 信頼される学校づくりの推進 ●学習の基盤となる学習環境の整備		
事業開始年度	令和5年度	事業終了（予定）年度	令和5年度
事業期間の設定理由			

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和5年度
	事業実施期間における中学校開校日のうち、快適な学習環境を提供できた日数の割合（100%）	快適な学習環境を提供できた日数／開校日数	成果実績	%	100.0			
			目標値	%	100.0			
			達成度	%	100.0			
	評価年度の設定理由							
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度に評価を実施します。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	交付金を、市内中学校の電気代に充当することにより、夏季、冬季においてエアコンを活用することができました。このことにより、中学校に通う学生に快適な学習環境を提供することが可能となり、また、中学校施設の維持運営に資することができました。							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無								
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	事業実施期間における中学校開校日のうち、快適な学習環境を提供できた日数		活動実績	日	95	91	93	
			活動見込	日	95	91	93	
			達成度	%	100.0	100.0	100.0	
交付金事業の総事業費等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考			
総事業費		6,216,110	8,823,657	7,726,774				
交付金充当額		4,448,000	4,545,000	4,545,000				
うち文部科学省分		0	0	0				
うち経済産業省分		4,448,000	4,545,000	4,545,000				
交付金事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
中学校にかかる電気の使用		随意契約（特命）		中国電力（株）（広島市）		7,726,774		
		計				7,726,774		
交付金事業の担当課室		江津市学校教育課						
交付金事業の評価課室		江津市学校教育課						

別紙

I．事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金 （門自治会集会所改修工 事）事業	雲南市	2, 000, 000	2, 000, 000	総事業費 2, 000, 000

Ⅱ. 事業評価個表（令和5年度）

番号		措置名		交付金事業の名称					
1		地域活性化措置		自治会施設等整備補助金（門自治会集会所改修工事）事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名				雲南市					
交付金事業実施場所		雲南市木次町平田							
交付金事業の概要		門自治会は、雲南市の中山間部に位置する地域であり、会員数27名（13世帯）・高齢化率59.26%（令和5年3月31日現在）となっており、高齢化が進んでいる状況です。 当自治会集会所は、（発電所の社宅の）中古材を利用し昭和58年に自治会活動の拠点として、また、自治会内唯一の交流場所として整備され、初期の災害時には自治会内での一時避難所としても利用されています。 平成24年には築30年が経過、老朽化が進み修繕を必要とする箇所が顕在化したため、当補助金を活用して屋根や台所の補修、部屋の拡張などの施設改修が行われ、築37年が経過した令和2年には、建設当時からそのまま利用されていた畳や電気設備（室内照明）、ゴミ集積倉庫の修繕を行い、自治会内での一時避難の場所として、また、自治会唯一の交流場所としてより安心・安全な集会所となりました。 しかし、令和5年で築40年が経過する現在、集会所の犬走りにひび割れが生じており、今後、亀裂が拡大する危険があるため、早急に修繕が必要となりました。また、老朽化により修繕箇所が顕在化した広縁部分（床、引き違い窓、外壁、内壁等）及び北側の引き違い窓の修繕も必要となりました。広縁部分の修繕と広縁にある引き違い窓にカーテンを新設することで、自治会内の一時避難場所でもある当集会所において、避難時であってもプライベート空間を確保できるようになります。また、当自治会では高齢化が進んでおり、障子の張替負担軽減のため、集会所内の一部の障子をカーテンへ変更します。さらに、感染症対策として、換気をしながら集会所での会合を行ったり、避難時には快適に過ごすため、台所に網戸を新設し、また、老朽化したエアコン（2001年製）の更新をします。 以上のことから、自治会集会所の改修を行うことにより、自治会活動の拠点及び災害時初期の一時避難場所としての機能維持を確保することができ、より安全・安心な自治会の中心拠点としての更なる利用が見込めます。 具体的な事業内容は、以下のとおりです。 ・集会所の改修 木工事、建具工事、内装工事、板金工事、左官工事、空調設備工事							
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅰ みんなで築くまち《協働・行政経営》 施策01 市民が主役のまちづくりの推進 まちづくり活動への参加推進・まちづくり活動の拠点整備 施策目標：過去1年間に地域活動に参加した市民の割合 <table><tr><td>現状</td><td>62.9%（令和3年度実績：木次地域）</td></tr><tr><td>目標</td><td>75.0%（令和5年度）</td></tr></table>				現状	62.9%（令和3年度実績：木次地域）	目標	75.0%（令和5年度）
現状	62.9%（令和3年度実績：木次地域）								
目標	75.0%（令和5年度）								
事業開始年度		令和5年度	事業終了（予定）年度		令和5年度				
事業期間の設定理由									

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和6年度
	過去1年間に地 域活動に参加 した市民の割 合 75.0%	市民アンケート において「過去1 年間に地域活動 に参加した」に ついての項目 に、したと答え た数／市民アン ケート回答者数	成果実績	%				
			目標値	%	75.0			
			達成度	%				
	評価年度の設定理由							
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	－							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和5年度			
	集会所改修		活動実績	件	1			
			活動見込	件	1			
			達成度	%	100.0			
交付金事業の総事業費等	令和5年度					備 考		
総事業費	2,000,000							
交付金充当額	2,000,000							
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	2,000,000							
交付金事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
補助金交付		補助		門自治会（雲南市）		2,000,000		
		計				2,000,000		
交付金事業の担当課室		木次総合センター自治振興課						
交付金事業の評価課室		木次総合センター自治振興課						

別紙

I．事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金 （飯石交流センター備品整備）事業	雲南市	2,684,000	2,684,000	総事業費 2,684,000

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号		措置名		交付金事業の名称					
1		公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置		自治会施設等整備補助金（飯石交流センター備品整備）事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名				雲南市					
交付金事業実施場所		雲南市三刀屋町多久和							
交付金事業の概要		雲南市内には、地域自主組織が概ね小学校区単位で30組織が設立されています。 この地域自主組織とは、まちづくり活動の拠点として地域の課題解決に向けた活動団体であり、各地域で持続可能なまちづくり活動の推進が積極的に行われている組織です。 当該三刀屋町飯石地区の活動拠点施設である飯石交流センターにおいては、地域自主組織「雲見の里いいし」の代議員総会や、新年賀会、敬老会など最大60人程度の会が開催されておりますが、既存の会議関連備品のうち会議用テーブルは老朽化に加え、重量が非常に重いため機能性が悪く、特に女性や高齢者が使用する際は準備に時間を要するなど不便が生じている状況です。 利便性の向上のための備品を整備することで、地域活動の充実や交流促進事業の強化を図り、地域の諸課題解決に向けた取り組みを強化できます。 また、当該交流センターは防災指定避難所に指定されており、地域自主組織では避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図る目的から、様々な防災備品を整備してきているが、その多くはセンター内外の屋外倉庫や集会室に保管しており、今後備品の保管・収納場所が不足することが懸念されます。 新たに防災備品専用の防災備品倉庫を設置することで、さらに防災備品の整備・拡充を行うことができます。 このような地域自主組織での主体的な備品の整備に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を交付します。 飯石交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。 ・幕板棚付き会議テーブル 30台 ・防災備品倉庫 1棟							
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅰ みんなで築くまち 施策01 市民が主役のまちづくりの推進 まちづくり活動への参加推進・まちづくり活動の拠点整備 施策目標：過去1年間に地域活動に参加した市民の割合 <table><tr><td>現状</td><td>55.6%（令和3年度実績：三刀屋地域）</td></tr><tr><td>目標</td><td>75.0%（令和5年度）</td></tr></table>				現状	55.6%（令和3年度実績：三刀屋地域）	目標	75.0%（令和5年度）
現状	55.6%（令和3年度実績：三刀屋地域）								
目標	75.0%（令和5年度）								
事業開始年度		令和5年度	事業終了（予定）年度		令和5年度				
事業期間の設定理由									

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和6年度
	過去1年間に地域活動に参加した市民の割合 75.0%	市民アンケートにおいて「過去1年間に地域活動に参加した」についての項目に、したと答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%				
			目標値	%	75.0			
			達成度	%				
	評価年度の設定理由							
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	－							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和5年度			
	飯石交流センターへの備品整備数		活動実績	台・棟	30・1			
			活動見込	台・棟	30・1			
			達成度	%	100.0			
交付金事業の総事業費等	令和5年度					備 考		
総事業費	2,684,000							
交付金充当額	2,684,000							
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	2,684,000							
交付金事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
補助金交付		補助		雲見の里いいし（雲南市）		2,684,000		
計						2,684,000		
交付金事業の担当課室		雲南市三刀屋総合センター自治振興課						
交付金事業の評価課室		雲南市三刀屋総合センター自治振興課						

別紙

I．事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金 （吉田交流センター防災備 品整備）事業	雲南市	880,000	880,000	総事業費 880,000

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（吉田交流センター防災備品整備）事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	雲南市吉田町吉田	
交付金事業の概要	吉田交流センターの防災備品は、平成29年度から本交付金を活用し整備することとしております。 地域自主組織の拠点施設であり、災害時の指定避難所でもある吉田交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応することのできる体制を構築するとともに、災害に対する町内住民の自助・共助の意識の醸成を図ります。 今年度も地震等大規模な災害の発生により避難した地域住民が数日間避難所で生活を送る事態を想定し、交流センター以外の地区内の避難所（体育館等）も含めた避難所運営に必要な備品の整備を進めます。また、令和3年7月の豪雨災害時に各地区で避難所を開設した経験から、季節に関わらず迅速な避難者受入れ及び効率的な避難所運営のため、必要な避難所用備品を追加整備します。 このような各地域自主組織でのより主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。 具体的には、今年度、防災備品専用の保管倉庫1基を設置します。現在、防災備品については、吉田交流センター内の倉庫及び敷地内に設置した大型倉庫へ保管していますが、今後、さらに防災備品の整備、拡充を行うにあたり保管場所が不足するため設置します。 なお、今回整備する大型倉庫には、車椅子、大型扇風機、石油ファンヒーター、防災用テント、折り畳み式簡易トイレを保管する予定です。 吉田交流センターに整備する備品の具体的な内容は、以下のとおりです。 ・大型倉庫 1基	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	令和5年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画2015－2024）】 Ⅱ 安全・安心で快適なまち 施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備 各交流センターに防災備品を整備することで、避難所機能の充実を図るとともに、この防災備品を地域自主組織が管理し、避難訓練等の活動に取り組むことで、自主防災活動を強化し、地域住民の防災意識の醸成を図る。 施策の目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 現状 29.5％（令和3年度実績：吉田地域） 目標 38.0％（令和5年度）	

事業開始年度	令和5年度			事業終了（予定）年度		令和5年度	
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和6年度		
	災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 38.0%	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%			
			目標値	%	38		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	-						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	吉田交流センターへの防災備品整備数		活動実績	点	43	19	1
			活動見込	点	43	19	1
			達成度	%	100.0	100.0	100.0
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度		令和5年度		備 考	
総事業費	584,540	359,433		880,000			
交付金充当額	584,540	359,433		880,000			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	584,540	359,433		880,000			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
補助金交付		補助		吉田地区振興協議会（雲南市）		880,000	
		計				880,000	
交付金事業の担当課室		吉田総合センター市民サポート課					
交付金事業の評価課室		吉田総合センター市民サポート課					

別紙

I．事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金 （民谷交流センター防災備 品整備）事業	雲南市	468,610	468,610	総事業費 468,610

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（民谷交流センター防災備品整備）事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	雲南市吉田町民谷	
交付金事業の概要	民谷交流センターの防災備品は、平成29年度から本交付金を活用し整備することとしております。 地域自主組織の拠点施設である民谷交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応することのできる体制を構築するとともに、災害に対する町内住民の自助・共助の意識の醸成を図ります。 今年度も地震等大規模な災害の発生により避難した地域住民が数日間避難所で生活を送る事態を想定し、交流センター以外の地区内の避難所（体育館等）も含めた避難所運営に必要な備品の整備を進めます。また、令和3年7月の豪雨災害時に各地区で避難所を開設した経験から、季節に関わらず迅速な避難者受入れ及び効率的な避難所運営のため、必要な避難所用備品を追加整備します。 このような各地域自主組織でのより主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。 今年度についても長期に渡り避難所生活を送る事態を想定し、避難者の健康を守るための対策を重視し、救助資材、車椅子等、次の備品を整備します。 民谷交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。 ・担架 1台 ・車椅子 1台 ・車椅子用スロープ 1台 ・A E D収納ボックス 1台 ・浄水器 1台 ・浄水器交換フィルター 1個 合計 6点	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	令和5年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画2015－2024）】 Ⅱ 安全・安心で快適なまち 施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備 各交流センターに防災備品を整備することで、避難所機能の充実を図るとともに、この防災備品を地域自主組織が管理し、避難訓練等の活動に取り組むことで、自主防災活動を強化し、地域住民の防災意識の醸成を図る。 施策の目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 現状 29.5％（令和3年度実績：吉田地域） 目標 38.0％（令和5年度）	

事業開始年度	令和5年度			事業終了（予定）年度		令和5年度	
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和6年度		
	災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 38.0%	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%			
			目標値	%	38		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	－						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	民谷交流センターへの防災備品整備数		活動実績	点	1	4	6
			活動見込	点	1	4	6
			達成度	%	100.0	100.0	100.0
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度		令和5年度		備 考	
総事業費	772,200	509,080		468,610			
交付金充当額	772,200	509,080		468,610			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	772,200	509,080		468,610			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
補助金交付		補助		民谷地区振興協議会（雲南市）		468,610	
		計				468,610	
交付金事業の担当課室		吉田総合センター市民サポート課					
交付金事業の評価課室		吉田総合センター市民サポート課					

別紙

I．事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	バス停留所標識柱設置事業	雲南市	286,000	286,000	総事業費 286,000

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	バス停留所標識柱設置事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市		
交付金事業実施場所		雲南市三刀屋町栗谷 外3か所		
交付金事業の概要		雲南市民バスは、現在30路線、161便／日運行しており、バス停留所が市内全域に約450箇所に設置されています。このバス停留所に設置している標識柱は、バスの乗降場所、時刻及び行き先等を掲示し利用者に示すものであるため、利用する上で必須です。 しかし、中には平成16年以前の旧町村時代に整備したものなどもあり、経年劣化による老朽化で朽ち果てている箇所や倒壊等、設置箇所の安全確保が問題となっています。 そこで、市内全域で更新の必要性が高いものの調査を行い、今年度は三刀屋地区のバス停留所標識柱4基について更新することで、利用者の安心安全を確保しつつ、利便性を向上させます。		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第2次雲南市総合計画（平成27年度～令和6年度）（後期基本計画 令和2年度～令和6年度） 政策：Ⅱ安全・安心で快適なまち《定住環境》 施策：13公共交通ネットワークの充実 ・まちづくりと連携した持続可能な公共交通体系を構築し、公共交通機関の利用促進を図ります。 ・既存の交通網の整備を図るとともに、多様な交通手段の提供により、利用者の利便性を確保します。 施策目標 市内の公共交通サービス機関（バス・ＪＲ・だんだんタクシー・デマンド型乗合バス）に満足している市民の割合 現状 53.2％（令和3年度） 目標 59.0％（令和5年度）		
事業開始年度		令和5年度	事業終了（予定）年度	令和5年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和 6 年度		
	市内の公共交通サービス機 関（バス・J R・だんだん タクシー・デ マンド型乗合 バス）に満足 している市民 の割合 59.0%	市民アンケートにおいて 「市民の公共 交通サービス に満足してい る」項目に満 足、多少満足 と答えた数／ 市民アンケート 回答者数	成果実績	%			
			目標値	%	59.0		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度の市民アンケート結果を事務事業評価に反映して事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	市民バス標識柱の更新数		活動実績	基	21	23	4
			活動見込	基	21	23	4
			達成度	%	100.0	100.0	100.0

交付金事業の総事業費等	令和３年度	令和４年度	令和５年度	備 考
総事業費	814, 000	1, 062, 600	286, 000	
交付金充当額	814, 000	1, 062, 600	286, 000	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	814, 000	1, 062, 600	286, 000	
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
バス停留所の標識の製作及び設置	一般競争入札	(有) サンユウ工芸（雲南市）	286, 000	
計			286, 000	
交付金事業の担当課室	雲南市政策企画部うんなん暮らし推進課			
交付金事業の評価課室	雲南市政策企画部地域振興課			

別紙

I．事業評価総括表（令和5年度）
（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金 （田井交流センター防災備 品整備）事業	雲南市	601,183	601,183	総事業費 601,183

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称																								
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（田井交流センター防災備品整備）事業																								
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市																								
交付金事業実施場所	雲南市吉田町深野																									
交付金事業の概要	田井交流センターの防災備品は、平成29年度から本交付金を活用し整備することとしております。 地域自主組織の拠点施設である田井交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応することのできる体制を構築するとともに、災害に対する町内住民の自助・共助の意識の醸成を図ります。 今年度も地震等大規模な災害の発生により避難した地域住民が数日間避難所で生活を送る事態を想定し、交流センター以外の地区内の避難所（体育館等）も含めた避難所運営に必要な備品の整備を進めます。また、令和3年7月の豪雨災害時に各地区で避難所を開設した経験から、季節に関わらず迅速な避難者受入れ及び効率的な避難所運営のため、必要な避難所用備品を追加整備します。 具体的には、災害時に道路の寸断、河川の氾濫箇所などが一目でわかる防災マップを整備をします。また、令和3年7月豪雨災害において、避難所で多くの情報が錯綜し、混乱を招いた経緯があるため、道路通行規制情報などのインフラ状況を整理し、書き込み、スタッフ間で情報共有することを目的にパネルボード、サインスタンド、ホワイトボード、ホワイトボードシートを整備します。 あわせて、地震等の大規模災害を想定し、長期間に渡り避難所で生活を送る事態を想定し、簡易ベッド、発電機、テントを整備します。 このような各地域自主組織でのより主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。 田井交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。 <table><tr><td>・防災マップ</td><td>20枚</td><td></td></tr><tr><td>・パネルボード</td><td>1枚</td><td></td></tr><tr><td>・サインスタンド</td><td>1台</td><td></td></tr><tr><td>・ホワイトボード</td><td>1台</td><td></td></tr><tr><td>・ホワイトボードシート</td><td>1巻</td><td></td></tr><tr><td>・簡易ベッド</td><td>5台</td><td></td></tr><tr><td>・発電機</td><td>1台</td><td></td></tr><tr><td>・テント</td><td>1張</td><td>合計31点</td></tr></table>		・防災マップ	20枚		・パネルボード	1枚		・サインスタンド	1台		・ホワイトボード	1台		・ホワイトボードシート	1巻		・簡易ベッド	5台		・発電機	1台		・テント	1張	合計31点
・防災マップ	20枚																									
・パネルボード	1枚																									
・サインスタンド	1台																									
・ホワイトボード	1台																									
・ホワイトボードシート	1巻																									
・簡易ベッド	5台																									
・発電機	1台																									
・テント	1張	合計31点																								
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	令和5年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画2015－2024）】 Ⅱ 安全・安心で快適なまち 施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備 各交流センターに防災備品を整備することで、避難所機能の充実を図るとともに、この防災備品を地域自主組織が管理し、避難訓練等の活動に取り組むことで、自主防災活動を強化し、地域住民の防災意識の醸成を図る。 施策の目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 現状 29.5%（令和3年度実績：吉田地域） 目標 38.0%（令和5年度）																									

事業開始年度	令和5年度			事業終了（予定）年度		令和5年度	
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和6年度		
	災害に対する 家庭内での備えをしている 市民の割合 38.0%	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%			
			目標値	%	38		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のP D C Aサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	吉田町地域自主組織への防災備品 整備数	活動実績	点	19	1	31	
		活動見込	点	19	1	31	
		達成度	%	100.0	100.0	100.0	
交付金事業の総事業費等	令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
総事業費	590,260		880,000		601,183		
交付金充当額	590,260		880,000		601,183		
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	590,260		880,000		601,183		
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
補助金交付		補助		田井地区振興協議会（雲南市）		601,183	
		計				601,183	
交付金事業の担当課室		雲南市吉田総合センター市民サポート課					
交付金事業の評価課室		雲南市吉田総合センター市民サポート課					

別紙

I．事業評価総括表（令和5年度）
（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	自治会施設等整備補助金 （松笠交流センター防災備 品整備）事業	雲南市	1, 295, 800	1, 295, 800	総事業費 1, 295, 800

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（松笠交流センター防災備品整備）事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	雲南市掛合町松笠	
交付金事業の概要	松笠交流センターは、雲南市掛合町松笠地区に所在する地域自主組織の拠点施設であり、災害時の指定避難所となっています。災害時は、松笠地区の人を中心にここへ避難するとともに、発災中の防災拠点としての役割もあります。 しかし、令和3年7月の大雨災害の折、松笠交流センターの隣を流れる川が増水し、敷地まであと少しのところまで水位が上がり、施設の浸水が危惧されました。避難者の別の場所への再避難も検討されましたが、道路の崩壊も多々発生していることや、他地区への移動方法も無かったため、断念されました。 松笠交流センターは松笠地区内唯一の指定避難所であることから、この安全性の確保は必須であり、隣接する川からの浸水対策として、止水板等を松笠交流センターに配備し、必要な時に設置できるようにします。なお、急な大雨の際にはスタッフの人数が限られているため、少人数での設置も可能な物とします。また、設置を速やかに行えるようにすることと、機材の良好な維持のため、敷地内に収納庫を整備します。 このような地域自主組織の主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。 松笠交流センターに整備する備品の具体的な内容は、以下のとおりです。 ・ 止水板 15枚 ・ 止水板コーナー 1枚 ・ 水囊 30袋 ・ 収納用物置 1棟 合計47点	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	令和5年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画2015－2024）】 Ⅱ 安全・安心で快適なまち 施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備 各交流センターに防災備品を整備することで、避難所機能の充実を図るとともに、この防災備品を地域自主組織が管理し、避難訓練等の活動に取り組むことで、自主防災活動を強化し、地域住民の防災意識の醸成を図る。 施策の目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 現状 33.6％（令和3年度実績） 目標 38.0％（令和5年度）	

事業開始年度	令和5年度		事業終了（予定）年度			令和5年度	
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和6年度		
	災害に対する 家庭内での備えをしている 市民の割合 38.0%	市民アンケートに おいて「災害に対 する家庭内での備え」についての項 目に、していると 答えた数／市民ア ンケート回答者数	成果実績	%	38		
			目標値	%			
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和5年度	令和 年度	令和 年度
	吉田町地域自主組織への防災備品 整備数		活動実績	点	47		
			活動見込	点	47		
			達成度	%	100.0		
交付金事業の総事業費等	令和5年度		令和 年度		令和 年度		備 考
総事業費	1,295,800						
交付金充当額	1,295,800						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	1,295,800						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
補助金交付		補助		松笠振興協議会（雲南市）		1,295,800	
		計				1,295,800	
交付金事業の担当課室		雲南市掛合総合センター市民サポート課					
交付金事業の評価課室		雲南市掛合総合センター市民サポート課					

別紙

I．事業評価総括表（令和５年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大仁農道舗装改修工事	島根県奥出雲町	4,466,000	4,466,000	総事業費 4,510,000

II. 事業評価個表（令和５年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大仁農道舗装改修工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		奥出雲町
交付金事業実施場所	奥出雲町亀嵩	
交付金事業の概要	昭和47年より島根県において着手、昭和61年に完成、平成3年に本町に譲与された大仁農道は、仁多地域と横田地域を縦断する道路であり、また県庁所在地である松江市への最短ルートでもあるため、生活道路としての利用も多い道路ですが、経年による舗装の劣化が著しい箇所があり、通行車両への影響が発生しているなど、交通に支障をきたしている状況です。 このため、舗装劣化が著しい箇所の舗装整備が必要なため、本交付金を活用し舗装整備を行います。 （令和５年度施工内容） 施工延長 L=90m、 舗装打換え工 A=585㎡	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標	第２次奥出雲町総合計画（2021年度-2030年度） 第３章 基本計画 基本目標 ７ー２ 生活基盤・交通基盤の整備 安全で快適な暮らしを支える上下水道・道路が適切に整備・維持管理されるとともに、地域特性に応じた公共交通などの移動手段が確保されたまち 奥出雲町国土強靱化地域計画（令和2年6月） 6. 起きてはならない最悪の事態ごとの推進方針 （１）大規模自然災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られる １）建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生 ③交通施設の安全化、防災空間の確保、道路寸断への対応 災害時の避難路及び緊急輸送道路へアクセスする道として、町道、農道、集落道、林道の整備を着実に進める。	

事業開始年度	令和５年度		事業終了（予定）年度			令和５年度	
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和５年度		
	大仁農道における、安全で快適に 通行できる実延長 と大仁農道総延長 の割合 82.5%	（路面にひび割れ 等がなく安全で快 適に通行できる実 延長）÷（総延 長）×100	成果実績	%	82.5		
			目標値	%	82.5		
			達成度	%	100		
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度末期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	舗装改修の延長		活動実績	m	180	110	90
			活動見込	m	180	110	90
			達成度	%	100.0	100.0	100.0
交付金事業の総事業費等		令和3年度	令和4年度		令和5年度	備考	
総事業費		7,480,000	4,744,300		4,510,000		
交付金充当額		4,473,000	4,469,000		4,466,000		
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		4,473,000	4,469,000		4,466,000		
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
	改修工事		指名競争入札		株式会社ＹＯＫＯＴＡ（奥出雲町）		4,510,000
	計						4,510,000
交付金事業の担当課室		奥出雲町環境政策課					
交付金事業の評価課室		奥出雲町環境政策課					

別紙

I．事業評価総括表（令和5年度）
（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	町道頓原長谷線舗装修繕工 事	飯南町	4,456,000	4,456,000	総事業費 5,027,000

Ⅱ．事業評価個表（令和５年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道頓原長谷線舗装修繕工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		飯南町
交付金事業実施場所	飯南町長谷	
交付金事業の概要	町道頓原長谷線は、来島ダム施設の上流部に位置し、周辺集落の人々にとって集落と集落を繋いだり、通勤、バスでの通学、役場、病院、買い物をするためなどに使ったりする大切な生活道になっております。しかし、幅員3.7～20.4mの町道で、町道認定から30年以上経過しておりますが、長年、舗装修繕歴はありません。そのため、アスファルト舗装の老朽化が著しく、クラック及び表層の局部的剥離が恒常的に繰り返しているため、走行中の車の振動や舗装の表層に注意が向き通行に支障をきたしております。その上、外側線もありません。 そのため、特に高齢ドライバーには運転しづらい路線状況となっております。 上記のように、長期的に修繕が必要な状況にあるため、平成30年度～令和5年度まで修繕を予定しており、住民の要望を聞きながら、必要な箇所を修繕しています。 令和5年度までに舗装改善を実施し、今後も継続して地域住民のための生活が豊かになるように努めていきます。 令和5年度実施内容： 修繕必要箇所2,085.5mのうち、263.0m部分の舗装工(オーバーレイ工)A=1,406.2㎡ 区画線工 L=526.0m	

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	交付金事業に関する主要政策 第2次飯南町総合振興計画後期基本計画（令和2年度～令和6年度） 基本施策5－2：生活基盤の整備 施策82：生活道の整備と安全確保 道路橋梁長寿命化修繕計画などに基づき、生活の基盤となる道路網を計画的に整備し、危険個所の点検を行い、改良に取り組みます。						
事業開始年度	令和5年度		事業終了（予定）年度		令和5年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和5年度		
	町道頓原長谷線における安全に通行できる道路の割合 100%	町道頓原長谷線における舗装修繕により安全に通行できる延長/町道頓原長谷線総延長の割合（%）	成果実績	%	100.0		
			目標値	%	100.0		
			達成度	%	100.0		
	評価年度の設定理由						
	毎年度PDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度末期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	町道頓原長谷線の舗装修繕延長		活動実績	m	315.0	250.0	263.0
			活動見込	m	315.0	250.0	263.0
			達成度	%	100.0	100.0	100.0

交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
総事業費	4,730,000	4,506,700	5,027,000	令和5年度までの総事業費 33,312,380円
交付金充当額	4,456,000	4,455,000	4,456,000	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	4,456,000	4,455,000	4,456,000	
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
町道頓原長谷線舗装修繕工事	指名競争入札	森島建設（株）（飯南町）	5,027,000	
計			5,027,000	
交付金事業の担当課室	飯南町建設課			
交付金事業の評価課室	飯南町建設課			

別紙

I．事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	ゴールデンユートピアおおち維持運営事業	美郷町	10,408,000	10,408,000	総事業費 13,333,333

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	ゴールデンユートピアおおち維持運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美郷町
交付金事業実施場所		美郷町粕渕
交付金事業の概要	ゴールデンユートピアおおちは、平成元年に旧邑智町の第3次長期総合計画の先導開発事業として位置付けられ、平成2年に旧自治省のリーディングプロジェクト事業（長寿社会対策）の採択を受けて平成2年度～平成6年度にかけて健康センター、スポーツセンター、交流センター及び高齢者センター等から構成される町民の健康づくりや健康増進、軽スポーツ、創作活動の場を提供する施設として、総事業費24億円をかけて建設されました。 当時の総合計画にもあるようにゴールデンユートピアの建設に当たっては、「町民誰もが長寿を喜び合い健康が楽しい暮らしづくり」「町民誰もが資源と技術と知恵を生かした生きがい創造に向けた産業おこし」「町民誰もが世代や地域を超えてふれあい学び合う交流による活力ある町づくり」という3つの基本目標を掲げています。とりわけ、長寿・健康という概念においては、オープン当初から療育音楽健康づくり教室や水中運動教室といった高齢者に特化し、施設利用を生かした今で言う介護予防教室を先駆的に実施しており、平成12年の介護保険制度導入後も引き続き町の介護予防事業として定着しております。 平成16年10月に旧邑智町と旧大和村とが合併し美郷町になってからも町の介護予防事業、健康づくり事業の拠点として位置づけられ、旧大和村の方からの参加者も増えていく中で、健康指導や運動指導に携わる職員も資格取得や研修を行いスキルアップを図ってきました。 このゴールデンユートピアおおちも平成18年度から指定管理者制度による指定管理を受けて一般財団法人美郷町開発公社が管理運営をしており、令和3年度からは新たに石見ワイナリー株式会社が管理運営をしていますが、開館から20年以上が経過し、施設の老朽化等があり、施設維持にも年々経費が増える中でも、町民にとっては最も関心が高い健康維持・増進を図るためにはなくてはならない施設であり、施設として安全で安定的な運営が求められています。 本交付金は町が所有する上記施設の管理運営について、石見ワイナリー株式会社と指定管理の基本協定書（令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間）に基づき、その管理委託料年額40,000千円の内、令和5年10月から令和6年1月分の管理委託料13,333,333円に本交付金を充当します。 このゴールデンユートピアおおち維持運営事業においては、町の広報誌等で電源立地地域対策交付金が使われていることを周知するとともに、町民の健康志向と生きがいに対する健康増進の拠点施設として今後も利用者の維持・拡大を図ります。	

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	①交付金事業の成果目標 交付金事業に関する主要政策・施策： 美郷町第2次長期総合計画 後期基本計画（令和3年度～令和7年度） 基本計画Ⅳ 健康 福祉 生涯を通じて健康で安心できるまち Ⅳ-1 保健・医療の充実 ・「一人ひとりがいきいき、みんなが笑顔でつながる健康な町」を基本理念として、疾病や障がい・加齢などに左右されず健やかで自立した幸せな生活ができる期間、いわゆる「健康寿命」のさらなる延伸や生活の質の向上をめざし、具体的な健康行動をおこす町民が増えることを目指します。				
事業開始年度	令和5年度		事業終了（予定）年度		令和5年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和5年度
	健康増進施設の利用者数の維持	健康増進施設（プール）の利用者の延べ人数	成果実績	人	5,891
			目標値	人	3,600
			達成度	%	163.6
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業終了後早期に評価を実施するため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	前提となる美郷町の人口推移としては、住民基本台帳による当該事業開始時点（9月1日）の人口が令和4年度の4,264人に対して、令和5年度は4,157人であり、約2.5%の減少となっています。そうした中、成果目標に掲げていた令和5年度10月から1月の健康増進施設の利用者数は、令和4年度と比較して増加しました（延べ人数2,309名増、増加率164%）。 ただし、令和4年度はプールの天井改修工事に伴い、令和4年12月12日から令和5年3月19日までプールが利用できない状況であり、令和5年度においても熱源（ボイラー）改修工事に伴い、令和6年1月15日から3月下旬までプール営業を休止としたため、純粋な比較はできませんが、施設の休止期間のない10月と11月の各月を比較しても、令和5年度の方が利用者数の増加が認められる結果となりました。 利用者数増加の理由として、水中運動教室や水泳教室の会員数が口コミ等により増加傾向にあることが挙げられます。来年度以降も引き続き取り組みを継続し、利用人数の維持を図っていきます。				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	介護予防教室（水中運動教室・健康教室）の開催回数 1ヶ月4日（週1日開催×4週） ×4ヵ月（交付金事業期間）	活動実績	回	11	12	-
		活動見込	回	16	16	-
		達成度	%	68.8	75.0	-
	健康増進施設（プール）の利用者延べ人数（無料利用を除く）	活動実績	人	-	3,582	5,891
		活動見込	人	-	-	3,600
		達成度	%	-	-	163.6
交付金事業の総事業費等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
総事業費		13,333,333	13,333,333	13,333,333		
交付金充当額		10,626,000	10,686,000	10,408,000		
うち文部科学省分		0	0	0		
うち経済産業省分		10,626,000	10,686,000	10,408,000		
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
ゴールデンユートピアおおちの管理運営		随意契約（特命）	石見ワイナリー株式会社（大田市）		13,333,333（4ヵ月分）	
		計			13,333,333	
交付金事業の担当課室		美郷町企画推進課				
交付金事業の評価課室		美郷町企画推進課				

別紙

I . 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	道路維持車更新事業	津和野町	4,513,000	4,513,000	総事業費 5,310,112

Ⅱ. 事業評価個表(令和5年度)

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	道路維持車更新事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		津和野町		
交付金事業実施場所		津和野町枕瀬		
交付金事業の概要		本町では、「津和野町公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設(町道等)の維持管理を行っています。現在、道路維持車として使用している小型貨物車は平成19年に購入したものであり、耐用年数も大幅に過ぎていることから、維持・修繕に要する費用の増加や作業効率の低下など様々な悪影響を及ぼしている状況にあります。よって、当該交付金を活用して車両を購入し、道路維持作業の効率化及びライフサイクルコストの削減を図ります。 令和5年度実施内容 3tダンプベース車(強化ダンプ) 1台購入(更新)		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		【主要政策・施策】 津和野町公共施設等総合管理計画 第6 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針 2 インフラ (1) 道路:日々の管理については、ライフサイクルコストの削減を目指して点検・診断・保全を行い、安全確保にも努めます。		
事業開始年度		令和5年度	事業終了(予定)年度	令和5年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和6年度		
	ライフサイクルコストの削減 道路維持車年間修繕費30%削減	100- $\{ \text{修繕費(令和6年度)} \div \text{修繕費(令和4年度)} \times 100 \}$	成果実績	%			
			目標値	%	30.0		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和5年度	年度	年度
	道路維持車購入台数		活動実績	回	1		
			活動見込	回	1		
			達成度	%	100.0		
交付金事業の総事業費等		令和5年度	年度		年度	備考	
総事業費		5,310,112					
交付金充当額		4,513,000					
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		4,513,000					
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
	道路維持車の購入		指名競争入札		有限会社日栄(津和野町)		5,310,112
	計						5,310,112
交付金事業の担当課室		津和野町建設課					
交付金事業の評価課室		津和野町建設課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	授業用電子黒板等整備事業	吉賀町	1,510,000	1,510,000	総事業費 1,853,500

Ⅱ．事業評価個表（令和５年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	授業用電子黒板等整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町
交付金事業実施場所	吉賀町立柿木小学校（吉賀町柿木）、吉賀町立朝倉小学校（吉賀町朝倉）、吉賀町立六日市小学校（吉賀町六日市）、吉賀町立柿木中学校（吉賀町柿木）、吉賀町立吉賀中学校（吉賀町七日市）	
交付金事業の概要	平成26年度、平成27年度にかけて、町内の小中学校に電子黒板等のICT機器を整備し、以来、授業の効率化や児童生徒の興味を引き出す魅力ある授業の実施に寄与してきました。 現在、整備から8、9年が経過し、画面タッチ感度の不良や画面表示に不具合（縦線、影等）が見られる電子黒板があり、授業進行に支障をきたす状況にあります。 令和5年度においては、不具合の生じている電子黒板のうち優先度の高いものを更新し、児童生徒に対するより良い教育環境の提供、また円滑な授業の実施を推進します。 ・令和5年度更新対象 電子黒板 5台、手動昇降スタンド 5台、電源タップ 5つ、HDMIケーブル 5つ	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標	吉賀町教育振興計画（令和4年3月） 基本理念 「ふるさとでの学びや体験をもとにした明日の吉賀町を支える人材の育成」 4. 学習環境の構築と支援体制の整備 1) 学びに適した学習環境の構築 （2）学校配置及び学校施設整備 《具体策》○補助金を活用した教材、遊具等の整備	

事業開始年度	令和5年度		事業終了（予定）年度		令和5年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和5年度		
	更新が必要な電子 黒板の割合を 86.1%から72.2% に引き下げる	未更新の電子黒板 数÷町内電子黒板 の総数	成果実績	%	72.2		
			目標値	%	72.2		
			達成度	%	100		
	評価年度の設定理由						
	事業完了後、早期に実施するため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度 年度	
	電子黒板等の整備台数		活動実績	台	5	5	
			活動見込	台	5	5	
			達成度	%	100	100	
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度		年度	備考		
総事業費	1,853,500	1,853,500					
交付金充当額	1,320,000	1,510,000					
うち文部科学省分	0	0					
うち経済産業省分	1,320,000	1,510,000					
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
	授業用電子黒板等の購入		随意契約（不落）		株式会社 タイピック（益田市）		1,853,500
	計						1,853,500
交付金事業の担当課室	吉賀町教育委員会						
交付金事業の評価課室	吉賀町教育委員会						

別紙

I . 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	学校教育用施設備品整備事 業(遊具)	吉賀町	1,653,000	1,653,000	総事業費 2,200,000

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	学校教育用施設備品整備事業（遊具）			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町			
交付金事業実施場所	吉賀町立柿木小学校（吉賀町柿木）、吉賀町立七日市小学校（吉賀町七日市）、吉賀町立朝倉小学校（吉賀町朝倉）、吉賀町立六日市小学校（吉賀町六日市）、吉賀町立蔵木小学校（吉賀町蔵木）				
交付金事業の概要	吉賀町内の5校の小学校には全120種の遊具が設置されており、身体を動かす遊びを通じて児童の健全な成長に寄与しています。 町では令和4年度に学校遊具安全点検事業を実施し、うち22種の遊具が「修繕又は対策が必要（（一社）日本公演施設業協会「遊具の安全に関する基準）」という判定結果となりました。遊具の劣化状況によっては児童の怪我等の重大な事故につながる可能性があるため、安全点検結果に基づき、令和5年度においては、特に早急に修繕が必要であると認められる遊具の修繕工事を行います。 ・令和5年度 遊具の修繕数 9種				
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	吉賀町教育振興計画（令和4年3月） 基本理念 「ふるさとでの学びや体験をもとにした明日の吉賀町を支える人材の育成」 4. 学習環境の構築と支援体制の整備 1) 学びに適した学習環境の構築 (2) 学校配置及び学校施設整備 《具体策》○補助金を活用した教材、遊具等の整備				
事業開始年度	令和5年度		事業終了（予定）年度		令和5年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和5年度
	修繕が必要な遊具の割合を100%から59.1%に引き下げる	未修繕の遊具数÷令和4度点検時点で修繕が必要な遊具の数	成果実績	%	59.1
			目標値	%	59.1
			達成度	%	100.0
	評価年度の設定理由				
	事業完了後、早期に実施				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	—				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無					

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和5年度	年度	年度
	遊具の修繕数		活動実績	種	9		
			活動見込	種	9		
			達成度	%	100.0		
交付金事業の総事業費等		令和5年度	年度		年度	備考	
総事業費		2,200,000					
交付金充当額		1,653,000					
うち文部科学省分		0					
うち経済産業省分		1,653,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
遊具の修繕		随意契約（不落）		株式会社NAC（防府市）		2,200,000	
		計					2,200,000
交付金事業の担当課室		吉賀町教育委員会					
交付金事業の評価課室		吉賀町教育委員会					

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	学校教育用施設備品整備事業 （プールサイドマット）	吉賀町	1,237,000	1,237,000	総事業費 1,562,000

Ⅱ．事業評価個表（令和５年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	学校教育用施設備品整備事業（プールサイドマット）
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町
交付金事業実施場所	吉賀町立朝倉小学校（吉賀町朝倉）	
交付金事業の概要	吉賀町立朝倉小学校は町の南部に位置する、児童数20名（R5年時点）の小学校です。同校のプールでは年間30日前後の水泳の授業等を実施ししており、児童の健全な成長に寄与しています。 プールサイドの床面の経年劣化にあわせ、児童の安全を確保するためにプールサイドマットを整備をしましたが、現在、整備から10年以上が経過し、マットのパイルが無くなっていること、またプールサイドの床面の劣化も進み、床表面部分の塗装が剥離するなど児童の怪我につながる危険な状態になっています。 このため令和5年度においては、プールサイドマットの更新及び、床面の下地処理（床調整）を実施することで、児童の教育環境を整備し、円滑な授業の実施を推進します。	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標	吉賀町教育振興計画（令和4年3月） 基本理念 「ふるさとでの学びや体験をもとにした明日の吉賀町を支える人材の育成」 4. 学習環境の構築と支援体制の整備 1) 学びに適した学習環境の構築 (2) 学校配置及び学校施設整備 《具体策》○補助金を活用した教材、遊具等の整備	

事業開始年度	令和5年度		事業終了（予定）年度		令和5年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和6年度	
	プールサイドマット整備によって安全な授業環境を提供できた日数の割合 (100%)	安全な授業環境を提供できた日数/R6年度の水泳授業の実施日数	成果実績	%		
			目標値	%	100	
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	事業完了後、早期に実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	—					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和5年度	年度
	プールサイドマット整備一式		活動実績	式	1	
			活動見込	式	1	
			達成度	%	100	
交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考		
総事業費	1,562,000					
交付金充当額	1,237,000					
うち文部科学省分	0					
うち経済産業省分	1,237,000					
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的		契約の方法		契約の相手方	
	プールサイドマットの購入		指名競争入札		有限会社宗正建設（吉賀町）	
			計		1,562,000	
交付金事業の担当課室	吉賀町教育委員会					
交付金事業の評価課室	吉賀町教育委員会					